

新鹿沢温泉旅館 鹿鳴館

Shin Kazawa Onsen Ryokan Rokumeikan
(群馬県吾妻郡嬭恋村)



外観

本日は、太平洋と日本海の分水嶺になっている地蔵峠から湯ノ丸山を登り、帰路にある新鹿沢温泉へやってきた。

鹿沢と言えば、中斜面主体のかっ飛ばせるグレンデ「鹿沢スノーエリア」があるところだ。このグレンデのコースは、ファーストやレフト、エース、リリーフといったような野球用語になっていることでも有名だ。

新鹿沢温泉にはいくつかの温泉旅館があるが、今回紹介するのは「新鹿沢温泉旅館 鹿鳴館」。鹿鳴館は真新しい建物で、清潔感がある。

フロントで入浴料を支払い、廊下を歩いて2階へ。温泉は「雲井の湯」という名称になっている。

脱衣室には籠が24個置かれている。貴重品は脱衣室入口にある貴重品ロッカーへ入れておこう。100硬貨投入タイプで、利用後は100円が戻ってくる。脱衣室には洗面台が3個あり、かかとクリームも置かれている。

浴室はシンプルだ。洗い場は8か所。浴槽は大きく長細い内風呂と露天風呂がそれぞれ1槽ずつある。

内風呂も露天風呂も、浴槽への湯の入口が一番奥になっている。浴槽は細長い造りになっているので、一番奥と一番手前ではかなり湯温が異なる。自分の好みの湯温の場所が間違いなく見つかるであろう。

露天風呂には寝風呂もある。特に境界はないが、3人くらいは寝そべることができるであろう。内湯も露天風呂も、木材を多用した和風の造りだ。登山やスキーの疲れが癒される

こと間違いなし。

尚、洗い場には、シャンプー、ボディソープが完備している。

ちなみに、鹿鳴館の湯はマグネシウム・ナトリウム・炭酸水素塩泉で、神経痛、関節痛、筋肉痛、胃腸虚弱、きりきず、婦人病などに効くという。

鹿鳴館は宿泊施設でもある。通常の洋室と和室があるが、その中でも「晚霞亭」は必見であろう。鹿鳴館によれば、100年前に建てられた農家をこの地に移築したものだという。

湯ノ丸山と鹿鳴館、あるいは鹿沢スノーエリアと鹿鳴館。この地でこの組み合わせが可能であることに感謝である。登山やスキーなどのスポーツを楽しんだ後は、温泉で疲れを癒すに限る。

- **名称**：新鹿沢温泉旅館 鹿鳴館
- **所在地**：群馬県吾妻郡嬭恋村新鹿沢温泉
- **電話**：0279-98-0003
- **営業時間**：日帰り客は12：00～21：00
- **定休日**：無休
- **入浴料**：宿泊客は無料、日帰り客は600円
- **サウナ**：なし
- **テレビ**：なし
- **取材日**：2012年9月8日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部